

2023年度福岡県自動車盗難等防止対策協議会定期総会を開催

～自動車盗難および盗難自動車の不正輸出に関する2023年度活動方針を策定～

福岡県自動車盗難等防止対策協議会(会長：川原 芳昭・日本自動車販売協会連合会 福岡県支部専務理事)では、7月18日(火)に博多サンヒルズホテルで、2023年度定期総会を開催しました。2003年度に設立された本協議会の21回目の定期総会であり、当支部は設立時から事務局を務めています。

当日は、顧問として福岡県警察本部、国土交通省福岡運輸支局および財務省門司税関等の参与団体のほか、会員14団体が出席しました。

顧問を代表し、福岡県警察本部生活安全部 南島 彰夫 部長からは、「犯罪情勢について振り返ると、昭和の終わりから平成にかけて犯罪が急増したが、平成14年のピーク時と比べると、現在は犯罪が85%減少している。犯罪が減った理由を特定することは難しいが、警察のみの単軸型対策から民間団体と連携した多軸型対策に変更されたことが大きな要因と考えられる。本協議会の活動が人々の幸せな生活を支えているということを確認いただき、引き続きご尽力いただきますよう、また警察の取り組みにお力添えいただきますよう、お願いします。」とご挨拶をいただきました。

引き続き、協会事務局から「2022年の自動車盗難件数は増加傾向にあり、新種の手口による盗難も発生している」と概況報告ののち、2022年度の活動報告および2023年度の活動方針「協議会会員相互の情報交換を促進していくこと」および「各会員が可能な範囲で独自の活動を推進していくこと」が承認されました。

その後の講演では、福岡県警察本部 生活安全部生活安全総務課 犯罪抑止対策室 手島 一憲 課長補佐から、「自動車盗の現状と対策について」ご講演をいただきました。

当支部では、引き続き、本協議会における官民の連携を推進するとともに、会員の皆様と、より効果的な自動車等盗難防止活動に取り組んでいきます。



福岡県自盗協川原会長による開会挨拶



福岡県警南島部長による顧問代表挨拶



福岡県警手島課長補佐による講演



総会の様子